



▲後援者に出迎えられる高橋村長

第18代昭和村長が誕生 高橋村政がスタート！

任期満了に伴う昭和村長選は、5月19日に投票が行われ、無所属新人の高橋幸一郎さんが初当選しました。第18代昭和村長に就任した高橋村長は、後援者や役場職員らに迎えられ5月31日に初登庁。村政に取り組む抱負を中心とした就任のあいさつを述べ、新村政がスタートしました。

昭和村長選挙 および 村議会議員補欠選挙

選挙結果

5月14日に告示された昭和村長選挙には、高橋幸一郎さん(吹張)、林祐司さん(生越)、藤井富夫さん(永井下)の3人が立候補し、昭和村議会議員補欠選挙には、澤田雅之さん(常木)、堤宏康さん(入原上)の2人が立候補されました。

5日間の選挙戦の後、投票は5月19日の午前7時から村内8か所の投票所で一斉に行われ、午後7時から役場会議室で即日開票されました。

当日有権者数は5,408人。投票率は約75%。なお、開票結果は次のとおりです。

開票日の翌日、5月20日に昭和村選挙管理委員会(松井文雄委員長)より当選証書が手渡されました。



当選証書を受け取る堤宏康議員



当選証書を受け取る高橋幸一郎村長

村長選挙(敬称略)

高橋 幸一郎	1,489
林 祐 司	1,188
藤 井 富 夫	1,309

村議会議員補欠選挙(敬称略)

澤 田 雅 之	774
堤 宏 康	2,190

住民主体の村政を目指し 幸福を感じられる村に



Profile

高橋 幸一郎

昭和28年9月28日生まれ(70歳)

昭和村出身

■特技・趣味

剣道教士七段、そば打ち三段、コーラス

青葉が美しい初夏の頃となり、村民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび、村長に就任し、この村の未来を託されたことに対し、責任の重さを強く感じているところであります。

多くの方々のご温情を真摯に受け止めて、村のために一生懸命、励む決意でありますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、村を取り巻く環境は、様々であります。ロシアや中東をはじめ世界情勢は非常に不安定であります。国政に目を移しましても、デジタル化の推進や高齢化対策・少子化対策など問題が山積しております。

そのような中ですが、私は「住民主体の村政」を実現するため、人との繋がりを大事にしていきたいと考えております。

その上で、未来の昭和村のために、どこよりも子育てしやすい村づくり、産業がさらに輝く村づくり、安全・安心

ホットな村づくりを推進して参ります。

村の基幹産業である農業が元気であることが村の元気につながります。物価高や価格低迷に苦しむ農業を支えていきたいと思っております。

そして、忙しく働かれている村民皆さまが余暇を楽しみ、文化芸術に触れあい、幸福を感じられる村にしていきたいと考えております。

昭和33年に昭和村が誕生し、昭和・平成・令和と3つの時代を駆け抜けてきました。先人たちの築いた昭和村を、さらに発展させ、未来へ繋いでいくために精励恪勤、職務に邁進いたします。

また、議会の皆さまとも十分議論を尽くして、車の両輪で万事が成し遂げられるよう務めていきたいと思っております。皆さまのより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、村民皆さまの益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

退任のあいさつ

このたび任期満了により、村長の職を退任することになりましたので、村民の皆さまに一言ごあいさつを申し上げます。

私が加藤秀光前村長の勇退を受け、村長に就任したのが12年前の平成24年5月でした。

思い返しますと、様々な出来事がありました。まず初めに取り組んだことは財政の健全化でした。自治体の財政破綻が叫ばれていた時代であり、当村の基金総額は34億円ほどでした。新庁舎建設や学校校舎建設などを見越した積み立てにより、令和3年度には61億円を超え、27億円以上も積み立てることができました。

また、平成27年度より取り組みました新庁舎建設は、大変思い入れのある事業となりました。庁内の検討委員会から始まり、先進地視察や議員報告を経て、庁舎耐震化検討委員会を設置いたしました。区長会議や地区説明会を開催し、村民の皆さまから多くのご意見をいただきました。その結果として、耐震補強は行わず新庁舎建設へと舵を切りました。

新庁舎建設に向け、平成30年に建設委員会を開催し、候補地の検討や基本構想・基本計画の策定、設計業者の選定などを行ってまいりました。令和3年7月には本格的な建設工事に着手し、令和5年1月に竣工となりました。

新庁舎での業務は5月8日から開始され、村民の皆さまにとって、訪れやすく・利用しやすく・開かれた庁舎であるとともに、総合案内窓口の設置やワンストップサービスの導入、利用頻度の高

い窓口を1階に集約することにより来庁者の利便性や満足度の向上に配慮した庁舎となりました。

その後、慣れ親しんだ旧庁舎の解体や駐車場の整備工事が令和6年3月に完了し、予定した全ての工事が無事に完了いたしました。

また、皆さまの記憶にも新しいところだと思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響は村政運営においても非常に大きなものとなりました。緊急事態宣言を受け、様々な行事や式典が中止となり、特に、学校生活を楽しみにしていた児童・生徒や保護者の皆さまは大変落胆したことと思います。3年あまりの長い年月を闘い抜き、完全に終息した訳ではありませんが、コロナ禍以前の日常生活が戻りつつあります。

この12年間を振り返ってみても、数多くの思い出が浮かんでまいります。思い描いた、村づくりは、皆さまのご理解とご協力で多くのことが実行できたと思っております。今後は一村民として村政を見守り、微力ではございますが協力させていただきたいと思えます。

最後になりましたが、村民皆さまのご健勝と、村の一層の発展を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。



前昭和村長 堤 盛 吉

退任のあいさつ

向暑の候、村民の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、一身上の都合によりまして、5月30日をもって副村長を退任いたしました。

3年2カ月という期間でしたが、在職中は、堤村長の補佐役として、新型コロナウイルス感染症対策や株式会社あぐりーむ昭和の経営、役場新庁舎の建設など多くの施策や事業に関わらせていただき、やりがいのある充実した日々を過ごすことができました。

その一方で、副村長としての職責を十分に果たすことができたのか、忸怩たる思いもありますが、村民の皆さまをはじめ、たくさんの方々を支えられ、そのありがたさを今もなお、かみしめているところであります。深く感謝を申し上げます。

今後は、一村民として、生まれ育った昭和村の発展を見守り、応援して参りたいと考えておりますので、ごつか、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、昭和村の限らない発展と、皆さまのご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます、退任のあいさつとさせていただきます。



前昭和村副村長 角田 正良